

● 業務の実施方針

実施方針は、業務への具体的な取組体制・担当チームの特徴、工程計画・動員計画及びその他業務実施上の配慮事項を簡潔に記述すること。



取組体制 地域密着型のコアチームと、全国組織のバックアップによる相乗効果を設計に生かした取組体制

【経験豊富な ALL 九州設計チーム】

- 担当コアチームは福岡市内に事務所を置く地域密着体制とし、赤村での打合せ、現場などには1時間程で伺い対応します。
- 建築、構造、電気、機械、監理、積算などはすべて九州事務所に籍を置く地域に精通した技術者とします。

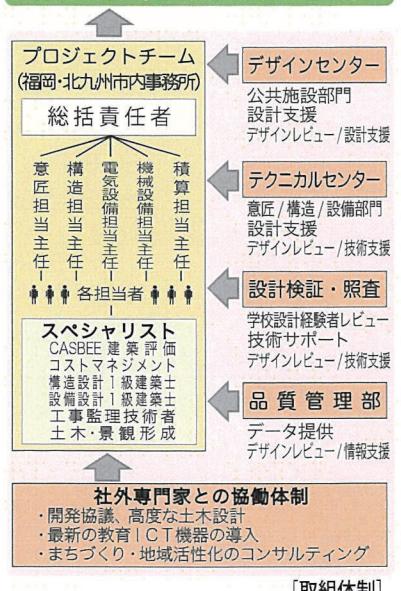
【組織力を生かしたバックアップ体制】

- 全国で年間10件以上の同類施設設計の実績を元にした適切なフィードバックにより、高品質な設計を提供いたします。

【地域に根ざす施設を創る為に】

- 豊富な経験者を集めた特別チームを編成し、窓口の一本化と各部門の専門化の両立を図ります。
- 九州事務所では筑豊の近隣地域に小中一貫・義務教育校・特別支援校・統合校など多くの設計実績があり、児童数わずか15名の離島校から1500人に及ぶ大規模校まで、地域に根ざした様々なケースの設計を行っています。
- 今回の設計に際しても、赤村の状況を充分に理解するために何度も足を運び、皆様のご希望に応えたいと思います。

赤村（小中学校・地域）



取組方針 「直接対話」を重視し、的確にニーズをかたちにします。
わかりやすいツールを活用し、納得いただけるまで御説明します。

【対話の重視と理解度の向上】

- 設計の主役となるのは「人」であり、直接対話が欠かせません。本件では、ワークショップやICT活用も含めた綿密でタイムロスのない迅速な対応により、**皆様の想いをカタチにし「今、学校に求められているもの」を見極め提案いたします。**

【ツールとデータの活用】

- 最新設計ツールを活用し、お客様、学校関係者様、エンドユーザー様にもわかりやすいプレゼンテーションを心掛けます。
- 温熱環境気流、振動や遮音など、日々の生活で気になる重要な点を中心に、**実際に体感できる説明**や類似事例などの提示を行います。
- 過去の実績となる物件に関しては、支障のない範囲で紹介、資料提供を始め、**実際現場等をご案内して体感して納得いただけるように**努めます。



配慮事項

赤村における「学校と地域の良好な関係性」を継続させる為に、「地域にとって学校とは何か」を皆様と共に考えかたちにします。

【地域と歴史への配慮】

- 地域の方にとって古くから学校は「学び舎、遊び場」であり、「郷土への想い」や「風景」そのものです。地域の宝である学校の統合にあたり、様々な立場にある関係者様の心情に配慮を欠かさず、真心をもって業務推進を図ります。



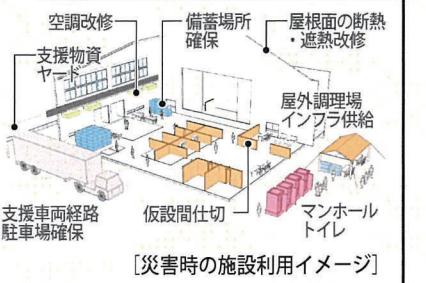
【環境への配慮】

- 維持管理しやすい設えと、各部の長寿命化、ライフサイクルコスト低減を図り、**これからの100年も愛される学校**を創ります。
- 永く子どもたちの心に刻まれるような**地球にやさしいエコスクール化**を推進し、省エネルギーを図りながら快適な教育環境とし、学習教材にもなる施設を構築します。



【災害への配慮】

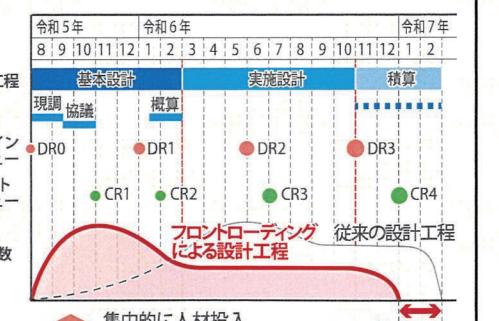
- 災害避難施設**としての安心、安全性を追求します。(インフラの充実、快適な避難生活空間の確保、耐震性の向上、耐風雨に対する信頼性向上)



工程計画 ISO9001 品質マネジメントシステムを適用し設計段階ごとにデザインレビューを行い、手戻りのない最適な提案を行います。

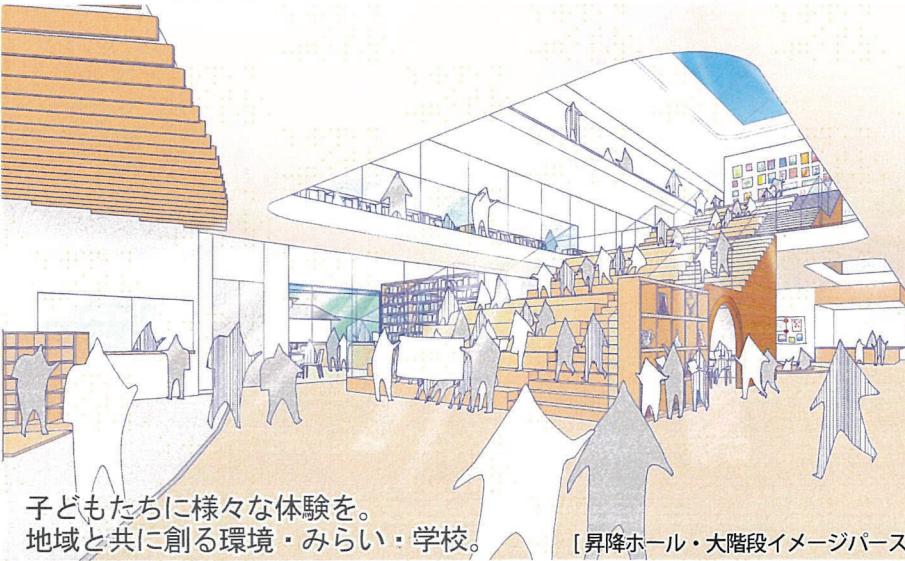
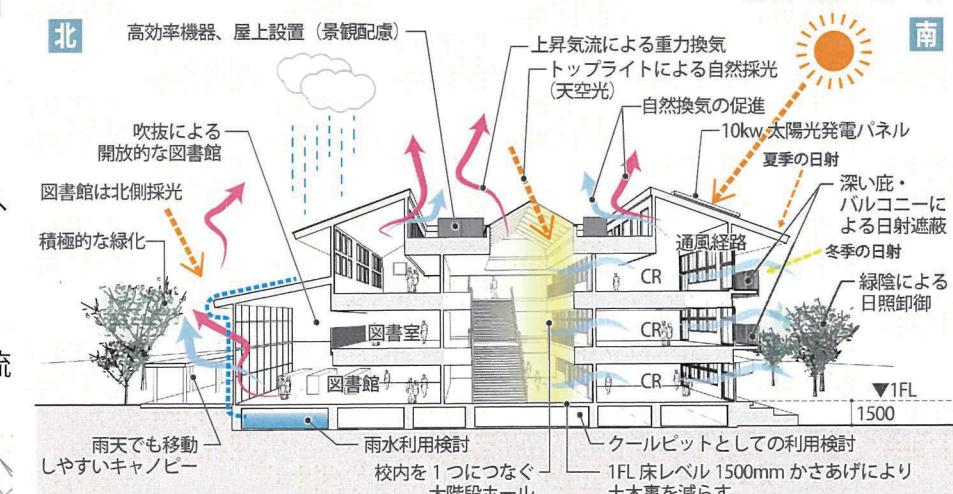
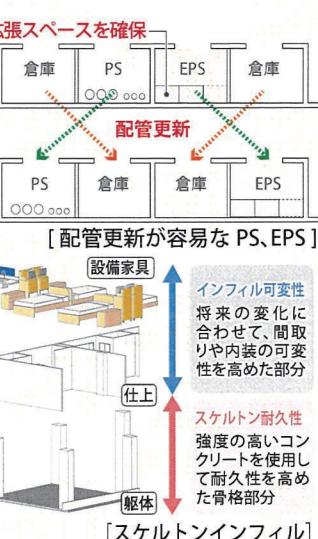
【フロントローディングによる工程計画】

- 設計初期段階に先行して集中検討**を行い、工期末に充分なフィードバック期間を設けます。
- 設計に際しては、工程上重要な局面ごとに、デザインレビュー・コストレビューを行い、特にコストを重点管理して積算結果をフィードバックします。**最終入札段階で不調、不落などによる手戻りのない**、確実な業務遂行を図ります。
- 業務工程表は常にアップデートして、関係者間で共有します。



【チェック体制の充実】

- 基本構想から読み込んだ事項については**オリジナルチェックリスト**を作成し自己評価を行うなど、確実な反映が成されるように努めます。
- 万全の社内照査体制**を構築し、設計図、関連資料、申請業務などについての社外リリース成果物等の品質を保証します。

<p>● 課題①: 基本構想等を踏まえた設計コンセプト</p>  <p>職場環境の改善</p> <p>ワンチーム教育体制を実現の為、教職員の負担を軽減、連携を強化し、質の良い教育に専念できるオフィス性能の向上</p> <p>【執務環境向上の為の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・執務スペースの充実とフリーアドレス化による流動性確保により繁忙期等の状況に応じて拡張可能な最適執務環境を提供します。 ・収納スペースの充実（積層化やデータ化による高効率化）を図ります。 ・小中職員がワンチームとなり、意思疎通が促進される情報共有設備の充実を図ります。 <p>【ICT 環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速大容量通信、校内 LAN、Wi-Fi、出力機器等充実による業務効率の向上を図ります。 <p>【連携による教員への負担軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア拠点を校内に構えることで密接な連携を図ることが可能とし、職員の雑務や地域活動への負担を軽減します。 <p>【リアルな空間・運動体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末やオンライン上では感じる事の出来ないリアルな空間体験の場を構成します。 ・他の児童生徒の学びの様子を「見て、感じる」事ができ、成長に伴って学校全体の様子が俯瞰できるような吹抜けと積層配置とします。 ・段差や距離を積極利用、体を動かす装置に。 ・スケートボードやボルダリングといったアーバンスポーツの広場やダンスステージの設置など、トレンドとなるジャンルにも挑戦します。 <p>【ICT 活用の環境強化による学校 DX 体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室への大型ホワイトボード + プロジェクター導入（投影 + 書込み）を図ります。 ・充実した通信環境の整備により、都市部の学校との連携授業や有名講師によるオンライン授業、「赤村からの情報発信」等が可能となる機器類を提案します。 <p>少人数を活かす</p> <p>個々の成長に寄り添い、進学によるギャップを見逃さない。赤村ならではの手厚い教育を実現できる一体感のある施設</p> <p>【「少人数」を強味に。オーダーメイド教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人数の「協働的集まり」から個別授業まで対応する可変性のある空間づくり。 <p>【教職員の見守りがしやすい一体的空間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階の職員室と別のフロアには、普通教室付近に教員コーナーを配置し、教職員が児童生徒の相談・見守りをしやすい計画とします。 	<p>・基本構想における整備コンセプトと方針を念頭においていたもの</p> <p>・計画概要説明書の各事項に概ね即したもの</p>
<p>環境負荷の低減</p> <p>地域の宝、豊かな自然を取り入れ、活かし快適に過ごす。環境への負荷低減を図り、学べる本物のエコスクールを</p> <p>【ZEB Ready を目標とした取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計段階で ZEB（ゼロエネルギービル）達成度検証を行い、事業費の範囲内で、エネルギー削減量と費用対効果を試算し、実現可能なものを採用します。 ・校舎南向き東西軸配置、開口部と外部廻りの高気密高断熱化を図り、西日や夏季の日照、外気温等の環境負荷低減を図ります。 ・庇、ルーバー、開口部、中央の吹抜けの最適配置により、自然採光の取り入れと、通風／換気経路の確保を行います。 ・屋根面に太陽光パネル（10kw）を設置し、モニターにより発電状態の見える化を図ります。 ・空調、照明、給湯、EVなどの設備機器類の設計においても、環境負荷に配慮します。 <p>【ZEB Ready 削減率合計 51.9%】</p> <p>ZEB Ready 実現のための取組</p> <p>※ZEB Ready : 50%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現する取組</p> <p>【エコスクールイメージ】</p>  <p>北 高効率機器、屋上設置（景観配慮） 南 上昇気流による重力換気 トップライトによる自然採光（天空光） 自然換気の促進 10kw太陽光発電パネル 夏季の日射 深い庇・バルコニーによる日射遮蔽 冬季の日射 緑陰による日照卸御 自然換気 クールビットとしての利用検討 1FL床レベル1500mmかさあげにより土木事を減らす。 [エコスクールイメージ]</p> <p>【配置イメージ】</p>  <p>低学年グラウンド 高学年グラウンド 児童生徒用駐輪場20台 屋内運動場 昇降口 校舎 共同給食センター 旧特別教室棟 P 来客用10台 教職員用45台 来客用40台 スロープ 正門 凡例 △自動車出入口 ▲歩行者出入口 ←自動車動線 →歩行者動線（自転車動線） ↔歩行者動線（施設間） 今川 [配置イメージ]</p> <p>【地域との協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の農業と連携した、エコリサイクルの確立（堆肥コンポスト、給食残滓等）を図ることができる仕組みづくりを行います。 <p>【更新容易として将来の負担を軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての間仕切りを乾式化することで将来の間仕切り変更が容易な計画とします。 ・スケルトン（構造躯体）とインフィル（内装等）の寿命が異なる部分を分離できる工法を採用することで、建物の長寿命化を図るとともに、内装・設備等をフレキシブルに更新できる仕組みとします。 ・劣化や損傷を軽減する仕上や材料選定、施工の工夫により、補修・交換頻度を抑えます。 <p>【配管更新が容易な PS, EPS】</p>  <p>インフィル可変性 将来の変化に合わせて、間取りや内装の可変性を高めた部分 スケルトン耐久性 強度の高いコンクリートを使用して耐久性を高めた骨格部分 [スケルトンインフィル]</p>	

● 課題②: 設計コンセプトを踏まえた建築計画

・配置計画・平面計画・断面計画等の具体的な建築計画

タテヨコに
結ぶ

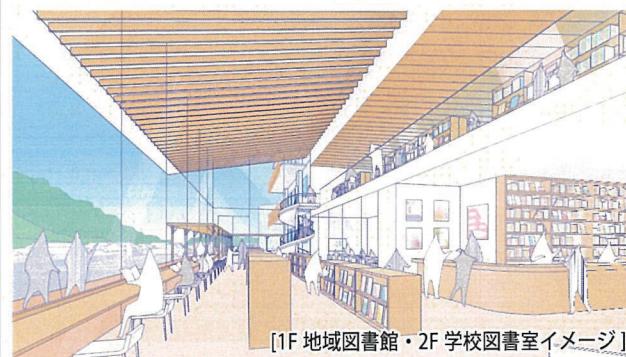
1階中央を南北に通り抜けできるピロティと、3階までの空間を縦に結ぶ吹抜と大階段によって一体感あふれるコンパクトな校舎を実現します。

【ピロティ】南北通り抜けを可能とし、各入口を集約。校内各施設につながる空間とします。
①おむかえ広場②
あいさつゲート③
あかもらステージ④

- 人が集まる、**交流が生まれる場所を創ります**。PTA・地域・交流イベントなどに使用可能です。
- 「見守り」のある学校とするため、**人の流れを集約・一元化**します。
- 1階床レベルと駐車場を同レベルとし、**ユニバーサルデザイン**を実現します。
- 駐車場・ランチルーム・旧特別教室棟・屋内運動場などを木造でデザインしたキャノピーで結び、来校がしやすい様に配慮します。
⑤

【地域交流への配慮】アクセスしやすい動線計画

- 駐車場から訪れやすい印象とします。
- 多目的教室(ホール)を単独で地域開放可能に。
⑥
- 外部に**あかもらステージ**を隣接させることでつながりを高め、様々な用途で使用可能に。
- 地域図書館(1階)は、駐車場前・ピロティ横とし、上層に学校図書室をのせ、吹抜でつなぎます。
⑦⑧
- 旧特別教室棟を地域開放対象**として、ボランティア拠点、地域カフェ、音楽スタジオ、アートアトリウムの設置、放課後保育施設併設などを提案します。
⑨



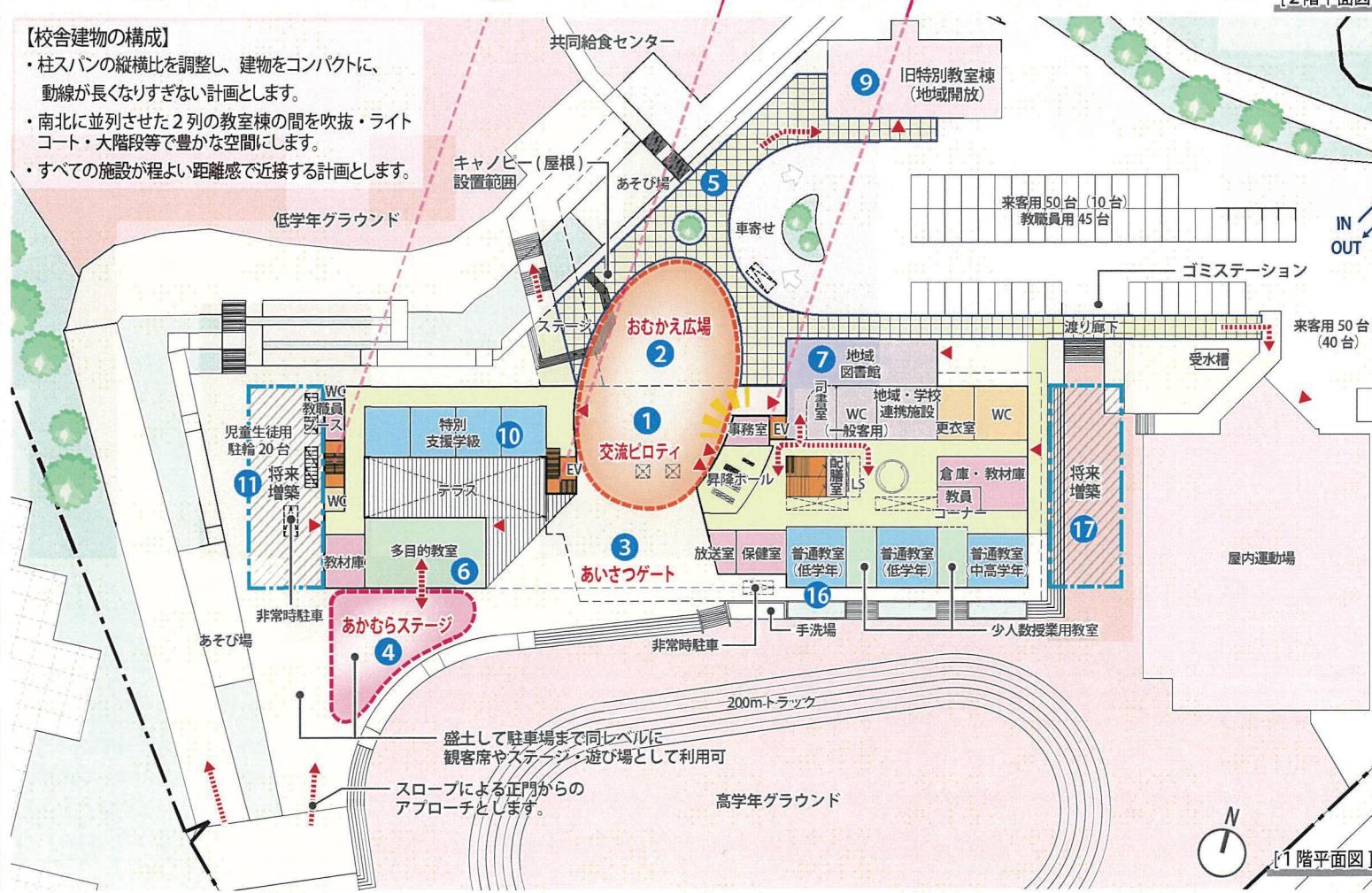
【特別支援学級への配慮】

- 各教室の南面に専用のテラスを隣接させます。
- 独立した運営**とする場合も使いやすい設えとし、落ち着きある施設とします。
⑩
- 多目的教室を同エリアに設置することで様々な教育の展開を可能とします。
⑪
- 西側には**将来増築**も可能なスペースを確保します。
⑫



【校舎建物の構成】

- 柱スパンの縦横比を調整し、建物をコンパクトに、動線が長くなりすぎない計画とします。
- 南北に並列させた2列の教室棟の間を吹抜・ライトコート・大階段等で豊かな空間にします。
- すべての施設が程よい距離感で近接する計画とします。



【特別教室ゾーン】地域開放を視野に

- 3階に集約し、全周バルコニーを設けます。
⑯
- 開放性の間仕切りとし、=見る・見られる =興味を引く設えとします。
- 勾配屋根を利用した高い天井とし、屋上利用やトップライトによる自然光利用可能とします。



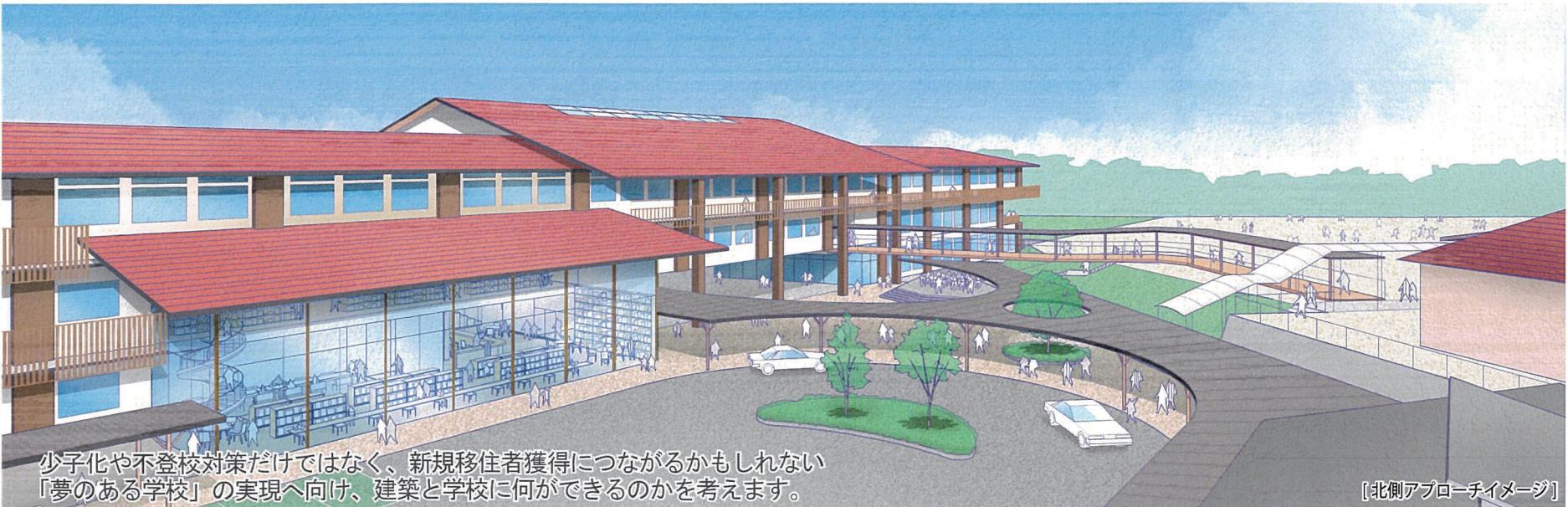
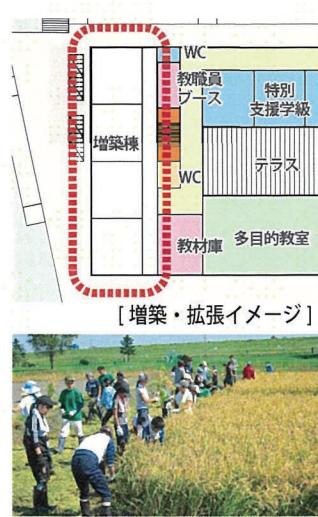
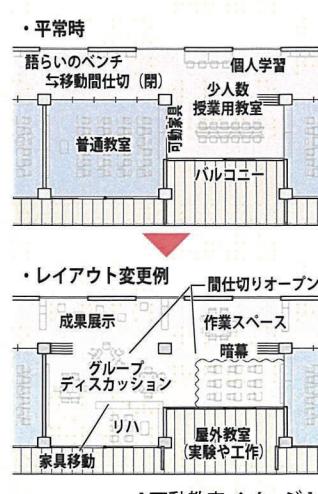
【普通教室ゾーン】建物南東部に集約

- すべて完全南向きとし、縦に積層して成長により上層階へ移動する演出とします。
⑯
- 大容量倉庫・トイレ・更衣室を近くに併設します。
- 3-3-3、4-3-2、6-3 等、学年の区分に応じたオーダーに応えられる様に**フレキシビリティ**のある移動間仕切りとします。
- 東側には**将来増築**も可能なスペースを確保します。
⑰

【大階段ホール】校内をタテに結ぶ

- 昇降口から各階教室までを吹抜と大階段でつなぎ、視覚的な広がりをもたせ、異学年交流を促進します。
⑯
- 大階段ホールはメディアセンター・昇降ホールと隣接させ、ステージ・発表の場や読書スペース、展示空間等の一体的で多様な使い方が可能です。
- 校内の騒ぎが伝わりやすく、すぐに駆けつけられ、**安全管理上のメリット**もあります。
- 有事の際には**一斉避難**が可能な直通階段としての活用も可能です。



● 課題③: 基本構想等に記載のない事柄に関する独自提案	・他者と差別化されたセールスポイント
<p></p> <p>少子化や不登校対策だけではなく、新規移住者獲得につながるかもしれない「夢のある学校」の実現へ向け、建築と学校に何ができるのかを考えます。</p> <p>子育世代定住へ 「子どもの減少」→「新規転入者を呼び込む」ことができる学校に発想を転換。</p> <p>【新たな転入者を呼ぶ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一貫校新設による「少数精鋭・赤村型手厚い教育」をアピールし、新たな転入者を誘う魅力的な施設提案します。 新たな定員増を視野に入れ、拡張性のある施設計画を行います。 農林業への新規就業者（親）にとって、「豊かな自然環境の中でも高度な教育の受け皿がある」事をアピールできる施設を計画します。 幼保との連携や、放課後保育施設の併設によって、共働きやシングルマザー世帯でも安心して暮らせる拠点となる学校を提案します。 <p>【山村留学の受け入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口集中した大規模校の「切磋琢磨する教育」に合わない不登校児童生徒の受け入れ 多様性のある子どもに対して門戸の広い教育の受け皿づくり 例え就学期間のみの一時的なものであっても、若い世帯の流入による村の賑わいと、経済効果が期待できると考えます。 <p></p> <p>【多様性に対する考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人就農者の家族ごとの移入を想定し、多国籍表記などの対応をします。 LGBTQへの対応をトイレ、サイン、更衣室などに教育上不自然とならないよう検討の上導入し、教育的な題材としても活用します。 <p>【教育機会の平等・赤村にも文化的拠点を】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存特別教室を改修活用し、生涯学習の場：美術、調理、音楽を創ります。 子どもと一緒に「創る」アートの場。アトリエや屋内外に展示スペースを創設します。 これまでの学校や村の歴史を振り返る、赤村ミュージアムを併設し、故郷への誇りを創出します。 ピロティやホールなどを利用した、文化祭や夏祭りへの対応がしやすい施設づくり（電源やインフラ、資機材倉庫、音響等）を行います。 <p></p> <p>体育館空調改修 大規模災害時で、停電からの復旧が遅れても安心な空調システムの提案。</p> <p>【安心で低成本な改修提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内運動場の空調機はプロパンガスを燃料とした発電機能付きガス空調とする事で、電気基本料金（デマンド値）を抑制します。 停電時でも（LPGの供給がある限り）空調を稼働することができ、また発電もされるため、避難所として最低限必要な照明やコンセントへの電力供給が可能です。 <p></p>	<p>地域産業を応援 基幹産業である「農業」と「林業」に対し、学校建設で貢献できることを考えます。</p> <p>【農業に誇りを】 校内への地域協働施設の誘致を提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤村ファーム（学校農園）の整備 村の基幹産業の学びのきっかけに DOYOU 農?イベント対応 収穫から、食材の調理、試食などまで体験できるスペースとしてランチルームや地域開放施設を使用できるよう工夫した施設づくり 「地域力フェ」の企画 近所の人から気軽に野菜が届く、地域と学校、親子の交流できる場所づくり <p></p> <p>【豊富な木材資源を生かす仕組みづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤村周辺の豊富な森林資源を、建設資材として生かす為には、村外製材施設への運搬→乾燥→製材→現場への再搬入、といった工程が必要で、コストと工期に跳ね返ってしまう事が現状かと思います。 弊社ではこれまでの実績を活かし、产学連携などの手段を含めた「適切なコストによる地域木材利用」の仕組みづくり尽力し、「地域産の木材による学校づくり」に寄与したいと考えます。 少量産出の広葉樹の建材利用や、木材の不燃化加工等も、今までの実績を活かし設計内容に反映いたします。 <p></p> <p></p> <p>原風景を創出 一生涯 心に残り続ける、9年間を過ごす赤村の風景の中心となる建物デザインやランドスケープを提案します。</p> <p>【誰の心にも響くデザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 村の歴史的遺産やトロッコ列車の時代を感じる「ネオレトロ」的ディテールとして、レンガ積みや木造駅舎風建物などのイメージ、情景を校舎デザインに取り入れます。 赤村の自然環境（新緑、盛夏、紅葉、積雪、桜並木、山麓、清流、田園、ホタル）との「調和と対比」を考えてデザインします。 特に赤村分校周辺の雰囲気は後世に伝え、受け継がれる事を目指して計画します。 <p></p> <p></p>